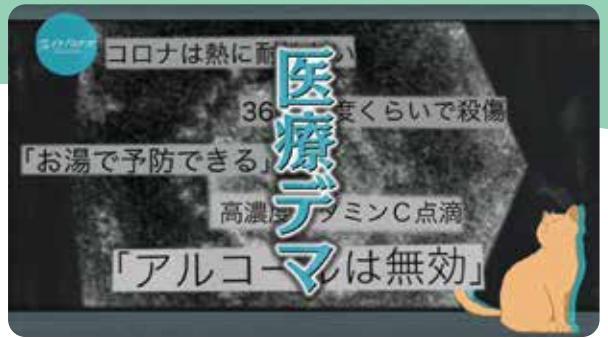


フェイク・バスターズ 新型コロナウイルス “情報爆発”に立ち向かう

放送日：2020年5月5日 放送時間：30分



対象校種 小学校高学年 中学校 高校
対象教科 道徳 学級活動 情報

この番組の良さ



● 情報を見極める方法を知る

「新型コロナにはお湯が効く」「拡散して下さい! 日赤総合病院の医師からの情報です」「製麺会社の社長が感染した」。これらは、すべて新型コロナウイルスをめぐる、ネットやSNSで飛び交ったフェイク情報(ニュース)です。それらを鵜呑みにし、家族や友人に拡散すれば、自分自身も「加害者」になってしまいます。自分自身を守るためにも、社会を混乱させないためにも、情報を見極める方法を学ぶことが必要です。

● インフォデミックの仕組みと対策に切り込む

番組では、新型コロナウイルスをめぐる様々なデマが拡散しコロナ差別や過激な行動へ発展したことや、デマの否定が逆にデマを広めた可能性など、人間の心理についても切り込むとともに、ネット上の情報を見極めるためのポイントなどが具体的に紹介されています。SNSが子供たちにも急速に普及する中、責任あるICTの使い手としてデジタル社会を生き抜くための資質・能力を各分野の専門家とともに考えることができます。



執筆者
沼津市教育委員会
指導主事 加納 真

番組活用のポイント

● 自分事として考える

新学習指導要領では、情報活用能力(情報モラルを含む)を、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けています。GIGAスクール構想下におけるICTを活用した学習活動の推進に伴い、学校における情報モラル教育は極めて重要な課題となってきています。

新型コロナウイルスの感染拡大により、外出自粛や医療崩壊の危機、先が見えない不安の中で、誰もが信頼できる情報を求めているからこそ、大切になってくるのが情報の見極め方を知ることです。情報化社会の新たな問題を考えるための教材として、身近な自分たちの問題であるという意識を持ち、自分事として考える場面を設定していくことが重要となります。

● インフォデミックの理解と

情報を鵜呑みにしたり、安易に拡散したりすると、誰もがデマの被害者や加害者になってしまう可能性があります。番組の視聴により、無数の情報が拡散するインフォデミック(情報爆発)の仕組みを知るとともに、実際に起きた新型コロナウイルスに関するデマや根拠の不確かな陰謀論、感染者への偏見やバッシングなどについて議論することで、信頼できる情報を見極める方法や情報社会に参画する態度について考えられるでしょう。

● 実際に体験し自らの行動変容につなげる

情報モラルの必要性や情報に対する責任についてより実践的に学習するためには、情報の真偽を見極める活動を実際に行ってみることが大変有効です。GIGAスクール構想下で整備された1人1台端末とクラス内限定のSNS等を用いて、子供たちが鵜呑みにしがちな情報やデマ・噂の真偽について調べたり、必要に応じて情報発信したりすることで、他人や社会への影響を体感する学習を展開し、児童生徒の行動変容のきっかけにつなげていくとよいでしょう。

信頼できる情報を見極めるには

【授業時間 50分】 まるごと視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>インターネットから得ている情報</p> <p>天気予報 ニュース ゲーム攻略法 お笑いネタ・芸能ネタ 料理レシピ 音楽や動画 マンガ お買い得情報 学習に役立つ資料 など</p> <p>情報を扱うときに、気をつけていることはどのようなことか。</p> <p>嘘かも知れないと疑う やたらと拡散しない 出所を確かめる スルーすることも必要 面白い情報はシェアする 有益な情報は皆に教えてあげる あまり考えていない</p> <p>情報は、どのように見極め、どのように扱ったらよいのだろうか？</p> <p>番組まるごと視聴</p> <p>番組を見て感じたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別や偏見につながることはしてはいけない ・フェイクが見分けるために、発信者や情報源を調べる ・専門家の意見や公的な情報、科学的な根拠などがあるかなどに気をつけたい ・「デマの否定」が逆にデマを広めることになることを知った ・マスメディアの情報発信のあり方や人間の心理について興味深かった ・これまで、安易にリツイートしていたかもしれない ・面白いかどうかではだめだ <p>情報は鵜呑みにせず、「だしりたまご」の7つのポイントを参考にするとよい。誰でも情報発信できるからこそ、行動の変容が必要である。自分の頭で考え、判断することが大事である。</p>	<p>・インターネットから得ている情報を尋ね、情報を扱うときに、どのようなことに気をつけているか聞く。</p> <p>・新型コロナウイルスに関する情報拡散が引き起こした影響をいくつか例示し、どのように情報を見極めていったらよいか考えて行くように問題喚起する。</p> <p>・1人1台端末による共同編集により意見交換を行うなどし、番組の感想を伝え合う中から、情報を見極める際に重要なことについて分類や焦点化をしていく。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・情報化社会に主体的に参加するための情報の見極め方について考え表現することができたか。</p> <p>・次に、1人1台端末とクラス内限定のSNS等を用いて、子供たちが鵜呑みにしがちな情報やデマ・噂の真偽について調べたり、必要に応じて情報発信したりすることで、他人や社会への影響を体感するようにする。</p>

コラム 『BS1スペシャル “フェイクニュース”を阻止せよ ～真実をめぐる攻防戦～』

フランスのある新聞社で組織された、虚偽のニュースを暴く専門チームの動きを追った内容です。フランス大統領選挙を背景に、対抗候補にマイナスイメージを植え付けるため、フェイクニュースが発信され続けます。彼らは事実関係を示す証拠や発信者などを追求し、真実を伝えようとします。膨大な虚偽の情報を使って政治まで誘導しようとする、現代社会における情報のもつ力と、その恐ろしさも実感することができます。

コラム 『フェイク・バスターズ』

「朝起きたら、ネット上で自分が“犯人”になっていた」「SNSで見た治療法を試したら病状が悪化した」など、実際にデマや不確かな情報に振り回された人たちを紹介しています。さらに、いま世界中で大問題となっている“究極の合成動画”＝「ディープフェイク」の実態や被害の様子も明らかにしています。番組を通して、インターネットやSNSなどに潜む罠や犯罪、その危険性について知ることができます。